第３学年１組　社会科学習指導案

令和４年　７月１４日（木）

指導者　染矢　直樹

１　単　元　　現代社会の特色と私たち　～　コンビニから現代社会の特色を見てみよう　～

２　目　標

○　現代社会の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることを、コンビニを通して理解することができる。（知識・技能）

○　少子高齢化、情報化、グローバル化などが、現在および将来の私たちの生活に与える影響について多面的・多角的に考察し、「コンビニ探検レポート」にまとめることができる。（思考・判断・表現）

○　現代社会に見られる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとする態度を育成することができる。（主体的に学習に取り組む態度）

３　指導観

○　本単元は、学習指導要領解説　－社会編－　公民的分野「A　私たちと現代社会」の(１)ア(ア)「現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解すること」を学習するものである。本単元では現代社会の特色として、グローバル化、情報化、少子高齢化などが見られ、それらが政治、経済、国際社会や私たちの生活に、現在及び将来にわたって影響を与えることを学習する。現代社会の象徴となるこの３つのキーワードを理解させ、これらのキーワードを組み合わせた自分なりの社会観を構築させることは、生徒たちがこれからの未来に向けてよりよい社会を創り、よりよく生きていくためにも意義深いと言える。また、本単元ではコンビニエンスストアなどの身近な生活と関連付けていく。公民学習の導入にあたり、主体的・対話的で深い学びを通して、「なぜ、社会科を学習するのか？」を生徒に明確に意識付けることを目指したい。

○　本学級の生徒の学力は、諸テストの結果などから全国及び宮崎県とほぼ同程度の成績である。みやざき学力検査（第２学年時）においては、「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」は、平均を上回っていたが、「知識・技能」はやや低い数値であった。そのため、毎時間、小テスト（語句の意味確認）を行っている。授業態度は良好であり、社会科学習を好む割合は全体の８７％（好き・やや好きの合計）、社会科は将来役に立つ（役に立つ、やや役に立つの合計）と答えた割合は９５％の高い数値であった。その理由として、日々のニュース動画の視聴、学習内容と現実社会を結び付ける手立てが功を奏していると思われる。全体的に授業中は活発であるが、自分の意見を発表できなかったり、資料の読み取りなどを苦手としたりする生徒も少なくない。そこで、日々の授業においては、タブレットによるロイロノートのテキスト機能を有効活用し、じっくり思考させる場面を設定しながら、ペアやグループ学習を適切に取り入れるようにしている。

少子高齢化、情報化、グローバル化などの現代社会の特色については、地理的分野の学習や総合的な学習の時間におけるSDGｓの取り組みなどについて学習を深めてきた。また、zoomを使ったセブンイレブンジャパンの出前授業を体験（7月1日）しており、コンビニを通して現代社会の特色を学ぶ本単元の学習スタイルに、意欲をもって取り組めると考えている。

○　本単元は5時間の扱いとして、生徒にとって身近なコンビニと少子高齢化、情報化、グローバル化との関連性から、現代社会の特色を追究させる。まず、第1時ではコンビニの現状から、単元の学習課題である「コンビニから現代社会の特色を探ろう」を設定する。第2時から第4時までは、少子高齢化、情報化、グローバル化ごとにテーマを設定し、私たちの生活にどのような影響を与えているかを身近な事例を取り上げて具体的に理解させる。第5時ではこれまでの学習を生かして、「コンビニ探検レポート」の作成方法を吟味することで、社会事象に対して自分の考えをもち、自分の言葉で表現できる力を高めていきたい。少子高齢化、情報化、グローバル化の視点は、現代社会の見方・考え方の基礎となるものである。コンビニを通して現代社会の特色を探究するような学習活動を通して、社会科の学習内容が日々の生活に密接に関係していることに気づかせ、より積極的に社会科学習に取り組もうとする意欲を高めたい。

4　指導計画　　単元の学習課題「　コンビニから現代社会の特色を探ろう　」

・＝学習活動　◎＝本時の学習課題　○＝振り返り

単元全体の流れ	時間
【　コンビニはどのように進化してきたのだろうか？　】 ・　コンビニ数の推移や変化を読み取り、現代社会の特色（少子高齢化、情報化、グローバル化）を考えてみよう **◎　コンビニから現代社会の特色を探ろう（単元の学習課題）** ○　６枚の写真を、少子高齢化、情報化、グローバル化に分類してみよう。	１時間
【　少子高齢化への対応は？　】 ・　「国民の年金負担」の表を文章化してみよう **◎　高齢者に向けてコンビニは、どんな対応をしているのだろうか？** ○　高齢者に優しいコンビニのキャッチフレーズを考えてみよう	２時間
【　情報化の進展により、どんなリスクがでてきたのだろうか？　】 ・　木村花さんの事例などから、情報化社会の問題を考えてみよう **◎　４つの行為の中で、情報モラルに反しているのはどの順番だろうか？（モラルに反している４つの行為をランキングしてみよう）** ○　山田教授の意見（侮辱罪厳罰化と表現の自由）について、賛成・反対か、理由を含めて考えてみよう	３時間 （本時）
【　私たちの身近でグローバル化を感じることは？　】 ・　椎葉村の土砂崩れの事例から、外国人労働者の問題を考えてみよう **◎　外国人労働者の増加で困ることはないだろうか？** ○　外国人労働者が、コンビニで働きやすい労働環境を考えてみよう	４時間

【　「コンビニ探検レポート」を作ってみよう　】 ・　少子高齢化、情報化、グローバル化の課題を、再度、整理しよう **◎　３つの視点において「コンビニ探検レポート」を作成する際、どんなところに目を向ければよいだろうか？（先輩たちのレポートを見てみよう）** ○　自分なりの「コンビニ探検レポート」を作る計画を立てよう	５時間

５　本時の目標

ア　情報化の進展により、様々な情報が公開、発信、伝達される状況となり、一人一人が正しい情報リテラシーを身に付ける必要があることを理解できる。

イ　「情報モラルに反する行為」のランキングや侮辱罪厳罰化の事例を通して、情報モラル遵守の重要性に気付き、厳罰化と表現の自由の是非について考えることができる。

６　学習指導過程

学習内容及び学習活動	指導上の留意点	時間
１　小テスト（語句理解）を行い、本時の学習内容に関係するニュース動画を見る。	○　本時の学習に興味･関心をもたせるため､本時に関係する最新のニュース動画（ＰＯＳシステム、木村花さんの事例）を活用する。	
２　前時までの学習を振り返り､情報化によるコンビニの変化を考える。 【めあて】　情報化による変化を知ろう	○　単元の学習課題と本時のめあてを確認させるため､コンビニにおける情報化の例を取り上げる。	
３　情報化に関する用語等を整理する。 ・　ＡＩ、デジタル・デバイド、遠隔操作、情報リテラシー、情報モラル	○　教師からの知識注入を避けるために、学習プリントを活用する。 ○　用語等を具体的に理解させるために、関連する写真や動画を準備する。	
４　情報モラルに反する４つの行為を､モラルに反している順番に並べる。 **【学習課題】情報モラルに反している行為について、反しているのはどの順番だろうか？**	○　情報モラルに反する行為が多岐にわたっていることに気付かせるため､ランキングによる学習を取り入れる。 ○　主体的で対話的な学びとするために、グループ活動を取り入れ､必ずランキングの理由まで考えるように指示する。	
５　グループごとにランキングを整理し､代表が板書する。	○　グループごとの意見を可視化するために､例を示しわかりやすく板書するように指示する。	

6　板書されたランキングについて、共通点や相違点を吟味する。	○　深い学びとするために、各グループの意見を整理・吟味する場を設定する。	
【まとめ】情報化の進展により便利になった反面、様々なリスクが生じている。私たちは情報モラルに基づく、正しい情報リテラシーを身に付ける必要がある。		
7　侮辱罪厳罰化への経緯を知る。	○　学習内容がより密接に現実社会に関係していることに気付かせるため、侮辱罪厳罰化の事例を取り上げる。	
8　山田教授の意見（侮辱罪厳罰化と表現の自由）について、賛成・反対か、理由を含めて考える。 9　次時の予告を受ける。	○　表現力の育成、自己決定の大切さを理解させるために、山田教授の意見に対して自分の考えがもてるようにする。	

7　本時の評価

評　価　基　準	評　価　方　法
ア　情報化の進展により、様々な情報が公開、発信、伝達される状況、正しい情報リテラシーを身に付ける必要性について理解できる。	○　単元テスト、パフォーマンス課題（コンビニ探検レポート）
イ　「情報モラルに反する行為」のランキングや侮辱罪厳罰化の事例を通して、情報モラル遵守の重要性に気付き、厳罰化と表現の自由について、自分の意見をもつことができる。	○　テキスト（ロイロノート）

8　板書計画

【めあて】　情報化による変化を知ろう ＡＩ（人工知能） 問題・・・デジタル・デバイド 情報リテラシー　⇔　情報モラル →正しく活用する力　→正しく利用する態度 ○　厳罰化　⇔　表現の自由　どっち？	【学習課題】 情報モラルに反しているのはどの順番だろうか？ ・　本日のニュース動画 ・　学習プリントの解答 ・　グループのランキング　など